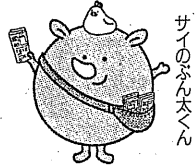




2017年(平成29年) 2月18日 土曜日

きょうは何の日

雨水、第1回東京マラソン  
開催(2007年)



埼玉新聞社 〒331-8686 さいたま市  
北区吉野町2-282-3  
本社代表 048-795-9930

# 看護学生ら誓い新た 幸手保健医療大で白衣式



火をともしたキャンドルを手にする  
看護学生ら15日午後、幸手市幸手  
の日本保健医療大学

臨床実習に入る直前の看護  
学生にプロ意識を高めてもら  
おつと、幸手市幸手の日本保  
健医療大学は15日、看護学科  
1年生84人を対象に看護白衣  
式を開催した。  
白衣式では平良専純学長が

1年生代表の安田雅美さん  
(23)に白衣を授与。1年生  
がキャンドルに火をともし、  
壇上に整列した。  
臨床実習に臨む「看護師の  
たまご」を前に、平良学長は  
「何事をするにしても基本が

大切」。作田勉理事長が一時  
々、患者さんから看護した同  
大の(学生へ)礼状をもちろこ  
ともある。そついつ看護をし  
てもらえたら」とあいさつ。  
熊坂隆行看護学科長が訓辞し  
渡辺邦夫幸手市長、熊木孝子  
県看護協会長が来賓として出  
席した。

白衣式を終え、実行委員の  
安田さんは「この大学は親  
身になってケアしてくれる。  
白衣式も協力してもらい実現  
できた」と振り返った。

同校によると、白衣式は1  
988年に米国で始まったの  
を皮切りに、国内では200  
6年に慶応大学で行われ、広  
がったとされる。ナースキャ  
ップを着用する際に使うのり  
が院内感染の原因になる可能  
性があることから、臨床の現  
場ではナースキャップをかぶ  
らない病院が増加。これまで  
一般的だった看護学生にナ  
ースキャップを与える戴帽式も  
止める学校が増加傾向にある  
という。  
(岩波里枝)